

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	3年	
教科等名		体育		グループ名	学年	
ねらい		・基本的な運動に慣れ、様々な身体の使い方や動かし方を覚えるとともに、動きのよい身体をつくることができる。 ・簡単なルールのある運動遊びに取り組み、楽しさや心地よさを友達と表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、友達と安全に楽しく運動をしようとすることができる。				
担当教員		○小林 幹太 松田 喜代美 林 美紀 番田 洋子 久木崎 未希 立山 史織 楠森 誠				
年間授業時数		70/175				
使用教科書						
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	手洗いをしよう 身体計測をしよう (保健)	通年	○	・手洗い、うがいなど ・身体測定、保健室の利用	・手洗いやうがいの習慣を付ける。 ・身体測定に必要な態度を身に付ける	・写真やカードなどで活動の手順を事前に伝える。
4 5	走ったり、踊ったりしよう	12	○	・小学部体操、ラジオ体操 ・リズム運動、しろくま体操 ・直線走、変形走 ・体育発表会 ・ダンス、パラバルーン(表現)など	・手本を見て、体操ができる。 ・音楽に合わせて姿勢や動きを変化させることができる。 ・姿勢の保持ができる。 ・ゴールに向かって走ることができる。 ・動きを覚えて表現できる。	・注目できるようにモニターに手本を映す。 ・ゴールに分かりやすい目印を提示する。 ・体得できるように繰り返し練習する。
	サーキット運動をしよう			・跳び越え、平均台、トンネルくぐりなど ・リズム運動	・スタートからゴールまで、器具に合わせて動きを変化させ、サーキット運動に取り組める。 ・ルールを守って運動することができる。	・できる動きを組み合わせる。 ・ルールや気を付けることを、イラストや動画で示す。
6 7 9	水に慣れよう (水泳)	12		・体操 ・水慣れ(輪になって歩く、走る、ジャンプなど) ・ワニ歩き、伏し浮き、バタ足など ・水中の玩具拾い	・プールに入水できる。 ・水の中で支援を受けながら、指示された活動ができる。 ・身体を下げて、あご、口、鼻、顔を水につけることができる。 ・支援を受けながら水に浮くことができる。	・水に慣れることができるように、スモールステップで活動内容を設定する。
9 10	体操選手になろう	12	○	・鉄棒、跳び箱 ・平均台 ・マット運動	・鉄棒にぶら下がったり、腕で支持して姿勢を保持したりできる。 ・跳び箱に跳び乗る、跳び越すことができる。 ・横転や「ゆりかご」の動きができる。	・動画や写真で手本を示し、イメージをもたせる。 ・自分の動きを動画で確認する。 ・回数を重ねられるように、グルーピングを行う。
11 12	ボールで遊ぼう	14		・ボール拾い、ボール投げ ・キャッチボール、ドリブル ・ボールキック ・ボールを使ったゲーム	・ボールを拾って所定の場所に入れたり、的に向かってボールを投げたりできる。 ・相手に届くように投げたり、ボールを取ったりできる。 ・簡単なルールのあるゲームができる。	・ねらいとなるような的やゴールを用意する。
1 2 3	陸上選手になろう	11		・ハードル走、障害物走 ・直線走、変形走 ・長縄跳び	・低いハードルを跳び越えながら歩いたり、走ったりすることができる。 ・リズムよく跳んだり、縄を越えたりできる。	・身体の大きさに合わせた器具を用意する。 ・一人一人に合わせて縄を回す速さを調節する。
		9		・事前学習 ・不整地歩行、不整地走	・不整地で安全に歩いたり、走ったりできる。 ・転ばないように気を付けて走ることができる。	・短い時間、距離から取り組み、少しずつ活動の時間を延ばしていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。